

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	セブンレジン
供給者の会社名称	セブン工業株式会社
住所	埼玉県草加市青柳8-32-5
担当部門	本社
電話番号	048-948-7644
緊急連絡電話番号	080-8070-2486
作成	2011年1月27日-2019年3月1日
改定	2025年2月4日
推奨用途及び使用上の制限	スピンドルピン用。所定の用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康有害性

引火性液体 区分2
皮膚腐食性 / 刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 区分2
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分3 (麻酔作用, 気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1 (神経系, 呼吸器系, 中枢神経系, 消化管)
吸引性呼吸器有害性 区分外
水生環境有害性 短期 (急性) 区分3
GHS分類結果が「区分に該当しない」、「分類できない」の項目は記載していない。

環境有害性

GHSラベル要素

絵表示 (GHS JP)



GHS02



GHS07



GHS08

注意喚起語 (GHS JP)

危険

危険有害性情報 (GHS JP)

引火性の高い液体及び蒸気 (H225)
皮膚刺激 (H315)
強い眼刺激 (H319)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (神経系、呼吸器系、中枢神経系、消化管) (H372)
水生生物に有害 (H402)

注意書き (GHS JP)

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースをとること。(P240)

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

応急措置をする者の保護

5. 火災時の措置

消火剤

粉末化学消火剤、炭酸ガス、スプレー水または通常の泡消火剤、砂／土。

火災危険性
消火方法

可燃性固体。
火災の場合：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。

消火を行う者の保護

圧縮空気・酸素呼吸器、耐火防護服

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。

漏洩場所を換気する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

漏出物を取り扱うとき用いるすべての設備は接地する。

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

換気の良い場所で取り扱うこと。

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

取扱い後はよく手を洗いうがいをする。

火気厳禁、静電気注意。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避
衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管温度：2～40℃

日光から遮断すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

n-ヘキサン (110-54-3)	
日本-ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	ヘキサン # Hexane
許容濃度	40 ppm(140 mg/m ³)
特記事項 (JP)	経皮吸収
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
日本-ばく露限界値 (管理濃度 (厚生労働省))	
現地名	ヘキサン # Hexane
管理濃度	40 ppm
規則参照	作業環境評価基準 平成 29 年度版
日本-生物学的ばく露指数 (日本産業衛生学会)	
現地名	ヘキサン # Hexane
BEI(BLV)	3 mg/g Kreatinin 測定対象物質: 2, 5-ヘキサンジオン - 測定対象試料: 尿 - 試料採取時期: 週末の作業終了時 - 注: 酸加水分解後 0.3 mg/g Kreatinin 測定対象物質: 2, 5-ヘキサンジオン - 測定対象試料: 尿 - 試料採取時期: 週末の作業終了時 - 注: 加水分解なし
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
アセトン (67-64-1)	
日本-ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	アセトン # Acetone
許容濃度	200ppm(475 mg/m ³)
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
日本-ばく露限界値 (管理濃度 (厚生労働省))	
現地名	2-プロパノン # 2-Propanone
管理濃度	500ppm
規則参照	作業環境評価基準 平成 29 年度版
日本-生物学的ばく露指数 (日本産業衛生学会)	
現地名	アセトン # Acetone
BEI(BLV)	40 mg/l 測定対象物質: アセトン - 測定対象試料: 尿 - 試料採取時期: 作業終了前 2 時間以内
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策
呼吸器の保護具

十分な換気を行う、局所排気装置を設置する保護具
状況に応じた適切な呼吸用保護具を着用する。高濃度の化学物質を取り扱う場合は、送気マスクの装着を検討する。作業者がガスや蒸気にはく露される場合は呼吸用保護具（防毒マスク等）の着用を検討する。防毒マスクの選択については、以下の点に留意する。酸素濃度が 18%未満の場所では使用しない。作業者が粉じんにも暴露される環境で防毒マスクを使用する場合には、防じん機能を有する防毒マスクを使用する。防毒マスクは、登録型式検定機関が行う型式検定に合格した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。保護手袋の選択については、以下の点に留意する。取扱説明書に記載されている耐透過性クラス等を参考として、作業に余裕のある使用時間を設定し、その時間の範囲内で保護手袋を使用する。

眼の保護具

適切な目の保護具（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、必要に応じて不浸透性の保護服及び保護長靴を着用する。保護服及び保護長靴の選択については、以下の点に留意する。取扱説明書に記載されている耐透過性クラス等を参考として、作業に余裕のある使用時間を設定し、その時間の範囲内で保護具を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
形状	高粘度液
色	茶褐色
臭い	弱いガソリン臭
ph	データなし
融点、凝固点、沸点	データなし
引火点	-22℃（最低引火点採用）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
可燃性	データなし
爆発限界 (vol %)	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度 (20° C)	1 以上 (空気 = 1)
相対密度	データなし
密度	約 0.98 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
溶解度	水に不溶、有機溶剤に可溶
n- オクタノール / 水分分配係数 (Log Pow)	データなし
粘性率	(S) 160 ~ 250 Pa·s (W) 130 ~ 200 Pa·s
動粘性率	データなし
粒子サイズ	データなし
粒径分布	データなし
粒子形状	データなし
粒子アスペクト比	データなし
粒子比表面積	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下では安定。
避けるべき条件	特に該当しない。
混触危険物質	酸化剤。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	分類できない。
経皮	分類できない。
吸入	分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性 / 皮膚刺激性	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	強い眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (神経系, 呼吸器系, 中枢神経系, 消化管)
誤えん有害性	区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態系 - 全般

水生環境有害性 短期（急性）
 水生環境有害性 長期（慢性）
 残留性・分解性
 生体蓄積性
 土壌中の移動性
 オゾン層への有害性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
 水生生物に有害
 分類できない
 データなし。
 データなし。
 データなし。
 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品 / 梱包処分

外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。
 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。
 ガラス容器：ガラスくずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチック類として処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

環境影響情報

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。廃棄の際は危険情報の反応性を踏まえて処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
1133	1133	1133
国連正式品名		
接着剤	ADHESIVES	Adhesives
輸送危険物分類		
3	3	3
		
容器等級		
II	II	II
環境有害性		
環境有害性：非該当	環境有害性：非該当 海洋汚染物質：非該当	環境有害性：非該当

海洋汚染物質
 特別な輸送上の注意

非該当
 『7. 取扱い及び保管法』の記載に従うこと、容器の漏れのないことを確

かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

国内規制

陸上規制情報

消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う

緊急時応急措置指針番号

128

15. 適用法令

労働安全衛生法

第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）作業環境評価基準（法第65条の2第1項）名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）ヘキサン（政令番号：520）（含有量：27%）アセトン（政令番号：17）（含有量：13%）特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法

第2類引火性固体「火気厳禁」危険等級III

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

船舶安全法

引火性液体類（危規則第2,3条危険物告示別表第1）

航空法

引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）

港則法

その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）ヘキサン（直鎖構造のみ）（管理番号：392）（17%）

16. その他の情報

連絡先

『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。

ホルムアルデヒド放散等級
SDS 伝達の経路

国土交通大臣認定 認定番号 MFN-2651 F★★★★

安全データシート (SDS) は原則として次の経路で最終取り扱い事業者様へ伝達されます。恐れ入りますが、未入手の場合の SDS ご請求や最新版のお問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出ください。【メーカー⇒代理店⇒取り扱い事業者】

法改正や製品の改良により MSDS を改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか御確認ください。

以前にお渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄してください。

免責条項

当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずにかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。